



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 石原産業株式会社
 コード番号 4028 URL <https://www.iskweb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 川添 泰伸 (TEL) 06-6444-1850
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	138,456	5.5	11,491	33.1	14,850	43.5	7,988	15.0
2023年3月期	131,238	18.3	8,631	△25.3	10,349	△22.0	6,947	△40.6
(注) 包括利益	2024年3月期		10,191百万円(13.9%)		2023年3月期		8,949百万円(△32.9%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	209.27	—	7.9	7.0	8.3
2023年3月期	175.75	—	7.3	5.3	6.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 597百万円 2023年3月期 648百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	224,324	106,116	47.3	2,776.83
2023年3月期	201,913	97,431	48.3	2,554.54

(参考) 自己資本 2024年3月期 106,068百万円 2023年3月期 97,431百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△2,811	△7,044	11,524	19,982
2023年3月期	△6,022	△5,021	1,048	17,662

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00	1,601	23.9	1.7
2024年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	2,673	33.4	2.6
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00		44.6	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,500	7.4	700	△69.3	400	△92.8	△1,000	—	△26.17
通期	144,000	4.0	10,000	△13.0	9,000	△39.4	6,000	△24.9	157.07

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期	40,383,943株	2023年3月期	40,383,943株
② 期末自己株式数	2024年3月期	2,186,519株	2023年3月期	2,243,479株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	38,173,168株	2023年3月期	39,532,247株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	109,055	△1.3	8,640	19.0	13,034	32.6	5,990	△21.4
2023年3月期	110,498	24.0	7,260	△19.8	9,827	△8.2	7,623	10.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	156.94	—
2023年3月期	192.84	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	192,658	84,649	43.9	2,216.10
2023年3月期	172,607	79,774	46.2	2,091.59

(参考) 自己資本 2024年3月期 84,649百万円 2023年3月期 79,774百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標、中長期的な会社の経営戦略及び会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
4. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や世界的なインフレによる物価高の継続、各国の金融引き締め政策などにより、依然として景気の先行き不透明な状況が続きました。当社グループの主力事業を取り巻く環境は、有機化学事業においては、主力の農薬について、米州で殺菌剤が減少したものの、欧州では殺虫剤などの需要が増加し、アジアや国内販売も堅調に推移しました。無機化学事業においては、酸化チタンの自動車向けが堅調に推移したものの、国内建築用途向けや海外販売が低迷し、機能性材料も電子部品用材料の販売が積層セラミックコンデンサ（MLCC）業界の在庫調整の影響で減少しました。

このような状況下、当社グループは、長期ビジョンとして「Vision 2030 独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。」を掲げ、2021年度から2023年度の3か年の中期経営計画「Vision 2030 Stage I」に取り組む中で、ESG、SDGs視点での経営強化や目標の具体化などを推進することにより、サステナブルな企業価値創造を目指しました。

この結果、当期の連結業績は、売上高1,384億円（前期比72億円増）、営業利益114億円（前期比28億円増）、営業外では為替差益を計上するなどで経常利益148億円（前期比45億円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、硫酸法酸化チタンに関連する固定資産の減損損失67億円を特別損失に計上するなど79億円（前期比10億円増）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

(有機化学事業)

農薬は、海外販売について、米州では、除草剤が堅調に推移しましたが、ブラジルでの在庫調整の影響などにより殺菌剤の販売が大きく減少しました。欧州では、アフリカでの害虫発生などにより殺虫剤の需要が拡大したことなどで増収となりました。アジアでは、除草剤や殺菌剤などの販売が増加しました。国内販売については、殺虫剤や殺菌剤などの販売が前期を上回りました。

農薬以外では、動物用医薬品や医薬品原末などのヘルスケア事業の売上高が前期を上回りました。

この結果、有機化学事業の売上高は、671億円（前期比34億円増）、営業利益は113億円（前期比7億円増）となりました。

(無機化学事業)

酸化チタンは、自動車向けは需要が回復したものの、建築用途向けなどの需要回復が鈍かったことに加え、アジア市況の低迷などが長引き、販売数量は伸び悩みました。その一方で、前期に実施した価格改定の寄与や、為替円安の影響などで、売上高は532億円（前期比37億円増）となりました。機能性材料は、電子部品用材料の車載用と通信向けともに、MLCCメーカーの過剰在庫解消策の影響などにより販売が減少し、売上高は148億円（前期比1億円減）となりました。

損益面では、販売数量減少などに伴う稼働率の低迷などでコストが増加したものの、原料価格の高騰に伴う価格改善の取り組みが寄与したことにより、増益となりました。

この結果、無機化学事業の売上高は680億円（前期比35億円増）、営業利益は32億円（前期比22億円増）となりました。

(その他の事業)

売上高は32億円（前期比2億円増）、営業利益は2億円（前期比6千万円増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末比224億円増加の2,243億円となりました。これは、現金及び預金が23億円、受取手形が8億円、売掛金が31億円、棚卸資産が165億円、投資有価証券が15億円それぞれ増加しましたが、有形固定資産が51億円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末比137億円増加の1,182億円となりました。これは、長短借入金・社債が141億円、未払法人税等が10億円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が17億円減少したことなどによるものです。

純資産は、利益剰余金が63億円、為替換算調整勘定が16億円それぞれ増加し、前連結会計年度末比86億円増加の1,061億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ23億円増加し、199億円となりました。
当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは28億円の支出（前期比32億円の増加）となりました。これは、税金等調整前当期純利益95億円、減価償却費及びその他の償却費53億円、減損損失69億円などの資金増加要因がありましたが、売上債権の増加38億円、棚卸資産の増加150億円、仕入債務の減少35億円などの資金減少要因があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、70億円の支出（前期比20億円の減少）となりました。これは、固定資産の取得などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、115億円の収入（前期比104億円の増加）となりました。これは、長短借入金・社債の純増141億円、リース債務及び割賦債務の返済9億円、配当金の支払16億円などがあったことによるものです。

キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	44.5	44.2	49.5	48.3	47.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	12.8	20.2	23.2	21.1	30.1
債務償還年数 (年)	15.8	12.7	3.1	-	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	5.5	8.3	30.8	-	-

(注) 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値より算出しております。

2 有利子負債にはリース債務等を含んでおります。

3 各指標は以下の算式により計算しております。

※自己資本比率：自己資本／総資産

※時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

(株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。)

※債務償還年数：有利子負債／営業活動によるキャッシュ・フロー

※インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー／利払い

4 2023年3月期及び2024年3月期は、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため、債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオの記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中国経済などの世界市況の不透明さや、地政学リスクの継続が予想され、厳しい事業環境が継続すると見込まれます。

当社グループでは、有機化学事業の主力農薬では、アジアで需要が堅調に推移するものの、米州や欧州では、ジェネリック品との競合で一部の剤の売上が落ち込むものと見込んでいます。また研究開発などの費用の増加が、利益を圧迫すると見込んでいます。無機化学事業では、国内需要は自動車向けを中心に堅調に推移すると見込む一方で、海外需要については、長引く中国経済の低迷などにより、輸出の先行きについては不透明な状況が継続すると見込んでいます。また損益面では、在庫調整などで稼働率が低下し、利益が減少するものと見込んでいます。

このような想定の下、次期の業績予想につきましては、売上高1,440億円、営業利益100億円、経常利益90億円、親会社株主に帰属する当期純利益60億円を見込んでおります。この見通しにおいて前提としている主要通貨の為替レートは、148円/米ドル、158円/ユーロであります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値を高めるとともに、株主の皆様へ利益を還元していくことを経営の最重要政策の一つと位置付けております。配当につきましては、業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案して業績に応じた安定的な配当の継続を基本と考えております。併せて、機動的に自己株式取得も行い総還元性向も意識した株主還元を行ってまいりました。中期経営計画「Vision 2030 Stage I」では、最終年度（2023年度）に向けて連結配当性向30%を目標としておりました。

この方針に基づき当期の期末配当金につきましては、1株当たり70円とさせていただきます予定であります。

次期の配当金につきましては、次期の業績予想等を勘案し、1株当たり70円の期末配当を予定しております。

なお、新中期経営計画「Vision 2030 Stage II」の最終年度（2026年度）に向けて連結配当性向40%を目標とすることに變更いたしました。詳細は、本日開示いたしました「剰余金の配当（増配）及び株主還元方針の變更に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、社会に存在する意義である「パーパス」を「化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける」とし、この決意のもと企業活動において全構成員が共有すべき基本的・普遍的な価値観を表すものとして、基本理念と行動基準を定めております。

<基本理念>

- ・「社会」、「生命」、「環境」に貢献する。
- ・株主、顧客・取引先、地域社会、従業員を大切にする。
- ・遵法精神を重んじ、透明な経営を行う。

<行動基準>

- ・社会から信頼される事業活動を行うため、社会規範、法令、会社の諸規定を遵守し、高い倫理観と良識をもって行動する。
- ・ものづくりに際しては、地球環境との調和を図り、常に安全確保に万全を期し、無事故・無災害に努める。
- ・相互協力、相互理解により人権を尊重し、風通しのよい働きやすい職場をつくる。
- ・企業活動の透明性を保つため、企業市民としてコミュニケーションを重視し、企業情報を適時、的確に開示する。

(2) 目標とする経営指標、中長期的な会社の経営戦略及び会社の対処すべき課題

当社グループは、長期ビジョン「Vision 2030」とそれに基づく中期経営計画（2024～2026年度）「Vision 2030 Stage II」に取り組んでいます。

1. 長期ビジョン「Vision 2030」

当社グループは、創立100周年を機に、10年先の2030年にありたい姿を描き、2030年に向けた長期ビジョン「Vision 2030」として「独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。」を制定し、以下の経営目標や取組方針などの実現を目指します。

(1) 経営目標（2030年）

- ・連結営業利益 240億円以上（想定連結売上 1,800億円以上） ROE 10%以上の安定確保
- ・株主還元 安定的な株主還元継続

(2) 基本的な取組方針

- ・コアコンピタンスである「化学技術」を中心として「独自の技術開発力」「品質・環境対応力」「グローバルな協業力」の“3つの強み”とそれらを支える「経営推進力」により「Vision 2030」の達成に取り組んでいきます。
- ・サステナブルな社会の実現に向けて貢献するとともに、その事業活動を通じて企業価値の向上を両立します。

(3) 事業方針と重点施策

1) 有機化学事業

事業方針：「顧客の価値向上に直結する独自製品を世界中に供給し、人々の食、健康、生命を支えてサステナブルな社会の実現に貢献する。」

- 重点施策：・バリューチェーンを意識した開発・商業化の推進
- ・自社技術の錬磨・進化による価値創造加速と成長路線復活
 - ・主力製品の世界一低コスト製造と顧客への安定供給

2) 無機化学事業

事業方針：「酸化チタンで培った技術をベースとした新たな価値を創造し、環境並びに情報化社会を支えてサステナブルな社会の実現に貢献する。」

- 重点施策：・酸化チタンの光学的特性を多様化させて、新たな価値創造を実現
- ・ICT普及や自動車EV化などの社会課題解決に機能性材料で貢献
 - ・生産構造改革により環境負荷低減と生産効率化とを両立

2. 中期経営計画（2024～2026年度）「Vision 2030 Stage II」

(1) 基本方針

長期ビジョン「Vision 2030」からバックキャストした2段階目の中期経営計画「Vision 2030 Stage II」は、「Vision 2030 Stage I」から継続し、サステナブルな企業価値創造を目指すことを基本方針とします。そして、独創のための研究・技術開発力の強化と効率化、当社の技術力を海外市場で発揮するためのグローバル化の加速、ROIC経営の推進、並びに、安定した株主還元継続、等の重点施策の実施により、事業基盤の強化と事業構造の改革を推進します。

(2) 経営目標

- ・連結営業利益 190億円以上（想定売上高1,600億円以上）、ROE 10%以上
- ・株主還元方針：安定的な株主還元継続
 - 2026年度に向けて連結配当性向40%を目標とします。
 - 機動的な自社株買いを実施します。

	2023年度実績 (A)	新中期経営計画「Vision 2030 Stage II」		
		2024年度	2026年度 (B)	(B) / (A)
売上高	1,384億円	1,440億円	1,607億円	1.2倍
営業利益	114億円	100億円	198億円	1.7倍
経常利益	148億円	90億円	193億円	1.3倍
親会社株主に帰属する当期純利益	79億円	60億円	136億円	1.7倍
営業利益率	8.3%	6.9%	12.3%	1.5倍
ROE	7.9%	5.6%	11.2%	1.4倍

(3) 重点施策

全社及び各事業レベルの取り組むべき重点施策は次の通りで、毎年事業計画を見直し、最終年度の業績目標の達成に向け取り組みます。

全社

- 独創のための研究・技術開発力の強化と効率化
- グローバル化の加速
- ROIC経営の推進
- 安定した株主還元の継続
- 環境・社会への貢献
- DX推進
- 人的資本経営の推進
- コーポレートガバナンスの継続・高度化

有機化学事業

- 新規化学農薬及び動物用医薬品等の開発・商品化の促進
- 農薬の安定供給・製造コスト低減により当社世界市場占有率の拡大
- 世界各国での農薬登録の取得・維持
- 動物用医薬品PANOQUELL®の米国での拡販、世界主要国への展開
- 農薬の販社複数起用など戦略的・革新的な営業施策の実行
- 他社M&Aや提携推進、他社剤導入による事業規模拡大
- バイオリジカル分野の開発・商品化

無機化学事業

- 無機化学事業の構造改革
 - 組織改編による無機化学事業本部の設置
 - 汎用酸化チタンから機能性材料ドメインへの製品ポートフォリオの本格転換
 - 製造拠点と製品ラインナップの集約と合理化
- 電子部品材料の拡販と生産能力増強
- 新規開発品の市場投入・新規ビジネスの創出によるビジネス拡大
- 海外での技術営業力の向上
- 他社との協業による事業拡大
- 主要原燃料の有利調達の実現

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,662	19,982
受取手形	2,233	3,053
売掛金	35,889	39,025
電子記録債権	1,322	1,617
契約資産	495	779
商品及び製品	37,558	52,371
仕掛品	6,897	8,132
原材料及び貯蔵品	30,323	30,871
その他	6,292	5,640
貸倒引当金	△1,175	△302
流動資産合計	137,499	161,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,265	43,176
減価償却累計額	△27,876	△30,192
建物及び構築物（純額）	15,389	12,983
機械装置及び運搬具	117,078	111,877
減価償却累計額	△96,640	△98,911
機械装置及び運搬具（純額）	20,437	12,966
土地	6,753	6,844
リース資産	1,767	1,835
減価償却累計額	△893	△1,070
リース資産（純額）	874	765
建設仮勘定	2,419	7,143
その他	4,002	4,143
減価償却累計額	△3,149	△3,287
その他（純額）	853	856
有形固定資産合計	46,728	41,560
無形固定資産		
ソフトウェア	413	368
ソフトウェア仮勘定	969	1,669
リース資産	1	2
その他	11	11
無形固定資産合計	1,396	2,052
投資その他の資産		
投資有価証券	8,106	9,648
繰延税金資産	7,308	7,630
退職給付に係る資産	23	29
その他	900	2,281
貸倒引当金	△49	△52
投資その他の資産合計	16,289	19,537
固定資産合計	64,414	63,150
資産合計	201,913	224,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,682	20,974
電子記録債務	1,366	1,979
短期借入金	13,470	7,680
1年内返済予定の長期借入金	8,956	7,600
1年内償還予定の社債	938	968
リース債務	403	343
未払法人税等	403	1,439
契約負債	16	39
未払費用	4,529	4,317
賞与引当金	870	903
修繕引当金	-	405
その他	5,554	6,404
流動負債合計	59,192	53,056
固定負債		
社債	2,960	1,991
長期借入金	25,647	47,839
リース債務	545	492
環境安全整備引当金	1,145	195
修繕引当金	238	-
退職給付に係る負債	12,166	12,007
資産除去債務	82	68
その他	2,503	2,554
固定負債合計	45,289	65,150
負債合計	104,481	118,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,653	10,672
利益剰余金	44,102	50,489
自己株式	△2,710	△2,653
株主資本合計	95,466	101,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	384	817
為替換算調整勘定	1,309	2,989
退職給付に係る調整累計額	271	333
その他の包括利益累計額合計	1,965	4,139
非支配株主持分	-	48
純資産合計	97,431	106,116
負債純資産合計	201,913	224,324

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	131,238	138,456
売上原価	97,973	101,354
売上総利益	33,265	37,101
販売費及び一般管理費	24,633	25,609
営業利益	8,631	11,491
営業外収益		
受取利息	40	191
受取配当金	202	236
持分法による投資利益	648	597
為替差益	1,452	2,642
原材料売却益	113	150
環境安全整備引当金戻入額	-	674
その他	453	464
営業外収益合計	2,911	4,955
営業外費用		
支払利息	481	625
金融手数料	421	633
その他	290	338
営業外費用合計	1,194	1,597
経常利益	10,349	14,850
特別利益		
固定資産売却益	-	39
投資有価証券売却益	76	47
受取和解金	-	2,077
特別利益合計	76	2,165
特別損失		
固定資産処分損	862	534
減損損失	63	6,967
特別損失合計	925	7,502
税金等調整前当期純利益	9,499	9,512
法人税、住民税及び事業税	1,148	1,911
法人税等調整額	1,403	△416
法人税等合計	2,551	1,495
当期純利益	6,947	8,017
非支配株主に帰属する当期純利益	-	28
親会社株主に帰属する当期純利益	6,947	7,988

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	6,947	8,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	431
為替換算調整勘定	1,422	1,309
退職給付に係る調整額	414	61
持分法適用会社に対する持分相当額	185	370
その他の包括利益合計	2,001	2,173
包括利益	8,949	10,191
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,949	10,162
非支配株主に係る包括利益	-	28

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	43,420	10,627	38,592	△734	91,905
当期変動額					
剰余金の配当			△1,438		△1,438
親会社株主に帰属する当期純利益			6,947		6,947
自己株式の取得				△2,003	△2,003
自己株式の処分		26		28	54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	26	5,509	△1,975	3,560
当期末残高	43,420	10,653	44,102	△2,710	95,466

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	405	△297	△143	△36	91,869
当期変動額					
剰余金の配当					△1,438
親会社株主に帰属する当期純利益					6,947
自己株式の取得					△2,003
自己株式の処分					54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21	1,607	414	2,001	2,001
当期変動額合計	△21	1,607	414	2,001	5,562
当期末残高	384	1,309	271	1,965	97,431

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	43,420	10,653	44,102	△2,710	95,466
当期変動額					
剰余金の配当			△1,601		△1,601
親会社株主に帰属する当期純利益			7,988		7,988
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		19		61	80
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	19	6,386	56	6,462
当期末残高	43,420	10,672	50,489	△2,653	101,928

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	384	1,309	271	1,965	-	97,431
当期変動額						
剰余金の配当						△1,601
親会社株主に帰属する当期純利益						7,988
自己株式の取得						△5
自己株式の処分						80
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	432	1,679	61	2,173	48	2,222
当期変動額合計	432	1,679	61	2,173	48	8,685
当期末残高	817	2,989	333	4,139	48	106,116

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,499	9,512
減価償却費及びその他の償却費	5,334	5,312
減損損失	63	6,967
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△341	△92
環境安全整備引当金の増減額(△は減少)	△320	△949
その他の引当金の増減額(△は減少)	△277	161
受取利息及び受取配当金	△243	△427
受取和解金	-	△2,077
支払利息	481	625
為替差損益(△は益)	△44	△44
持分法による投資損益(△は益)	△510	△592
固定資産処分損益(△は益)	221	126
売上債権の増減額(△は増加)	△5,492	△3,825
棚卸資産の増減額(△は増加)	△15,964	△15,069
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,914	902
仕入債務の増減額(△は減少)	5,048	△3,569
その他の流動負債の増減額(△は減少)	741	254
その他	△92	△25
小計	△3,786	△2,777
利息及び配当金の受取額	229	418
利息の支払額	△477	△580
保険金の受取額	34	6
和解金の受取額	-	1,038
法人税等の支払額	△2,022	△917
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,022	△2,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△21	△8
固定資産の取得による支出	△4,615	△7,538
固定資産の売却による収入	34	1,962
貸付けによる支出	△128	△636
貸付金の回収による収入	109	173
その他	△400	△995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,021	△7,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,700	△5,790
長期借入れによる収入	10,000	29,400
長期借入金の返済による支出	△8,525	△8,564
社債の償還による支出	△1,118	△938
リース債務の返済による支出	△396	△459
割賦債務の返済による支出	△1,168	△536
配当金の支払額	△1,438	△1,601
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,003	△5
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却 による収入	-	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,048	11,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	584	651
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,410	2,320
現金及び現金同等物の期首残高	27,073	17,662
現金及び現金同等物の期末残高	17,662	19,982

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が、事業活動方針や経営資源の配分を決定し、業績を評価する単位で構成しており、製品やサービスの特性や製造方法、製造過程に基づいて「有機化学事業」、「無機化学事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしております。

「有機化学事業」は、有機化学品である農薬、医薬品及び動物用医薬品の製造及び販売を行っている事業セグメントから構成されております。「無機化学事業」は無機化学品である酸化チタンやその他化成品、機能性材料の製造及び販売を行っている事業セグメントから構成されております。また、「その他の事業」は商社業、建設業等で構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	有機化学事業	無機化学事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,764	64,479	2,995	131,238	-	131,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	-	3,969	3,969	△3,969	-
計	63,764	64,479	6,964	135,208	△3,969	131,238
セグメント利益	10,625	1,016	223	11,865	△3,234	8,631
セグメント資産	82,251	98,540	4,548	185,339	16,573	201,913
その他の項目						
減価償却費	887	4,072	58	5,017	207	5,225
減損損失	-	63	-	63	-	63
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,802	3,507	12	5,321	585	5,907

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△3,234百万円には、セグメント間取引消去122百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,356百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額16,573百万円には、セグメント間債権債務消去△1,282百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産17,856百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、全社共用の資産等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	有機化学事業	無機化学事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,171	68,043	3,241	138,456	-	138,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	-	3,878	3,878	△3,878	-
計	67,172	68,043	7,119	142,334	△3,878	138,456
セグメント利益	11,326	3,278	291	14,897	△3,405	11,491
セグメント資産	91,242	106,043	4,848	202,134	22,190	224,324
その他の項目						
減価償却費	957	3,989	49	4,996	211	5,207
減損損失	-	6,763	-	6,763	204	6,967
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	987	7,751	9	8,748	900	9,648

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△3,405百万円には、セグメント間取引消去106百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,512百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額22,190百万円には、セグメント間債権債務消去△5,524百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産27,715百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、全社共用の資産等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	合計
56,391	26,501	28,453	19,471	421	131,238

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) アジア : 中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド
- (2) 米州 : 米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
- (3) 欧州 : ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
- (4) その他 : オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	アジア	米州	欧州	合計
45,335	159	1,039	193	46,728

(注) 1 有形固定資産は当社及び連結子会社の所在地に基づき、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) アジア : 台湾
- (2) 米州 : 米国
- (3) 欧州 : ベルギー

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	米州	うち米国		欧州	その他	合計
60,567	27,731	25,895	14,417		23,444	816	138,456

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア: 中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州: 米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州: ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他: オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	アジア	米州	欧州	合計
40,233	164	982	179	41,560

(注) 1 有形固定資産は当社及び連結子会社の所在地に基づき、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア: 台湾

(2) 米州: 米国

(3) 欧州: ベルギー

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,554.54円	2,776.83円
1株当たり当期純利益金額	175.75円	209.27円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,947	7,988
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	6,947	7,988
普通株式の期中平均株式数(千株)	39,532	38,173

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	97,431	106,116
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-	48
(うち非支配株主持分(百万円))	(-)	(48)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	97,431	106,068
1株当たり純資産額の 算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	38,140	38,197

(重要な後発事象)

該当事項はありません。